

令和元年度
グループホーム 鶴翠
事業報告書

(1) 基本方針

認知症という病気から自宅での生活が困難になったご利用者に「もう一つの家」と思ってもらえるような環境を作り、本来の自分らしい生活が出来る事を目的に支援を行います。

ご利用者個々の思いや生活の違いを介護サービスへ個別に取り入れ、ご利用者及びご家族の安心を提供していきます。

職員が「鶴翠の介護員」として自覚し、各々が自信を持てるように、随時研修を行います。また、それらの研修による介護員の質及びサービスの質の向上を目指します。

(運営方針)

- ① ご利用者の思いや性格、生活歴等、ありのままの状況を正確に把握して理解し、受け入れる事で、本人の望む生活、生きがいなどを見出し、もう一つの家で生活していると思ってもらえるような支援を行います。
- ② ご利用者の体調管理や心身の状態観察と把握に努め、ホームでの暮らしに安心感を持って頂けるように支援を行います。
- ③ ホーム行事や地域行事、運営推進会議等を通してご家族や地域の方々との交流を図れるように取組み、住み慣れた場所であると認識して頂けるような支援を行います。
- ④ 職員の能力・資質の向上の為、内部研修・外部研修を積極的に実施し、サービスの向上に努めます。

(重点目標)

- ① ご利用者に関する情報の共有体制強化を行いました。介護福祉士を中心に随時指導を行い、若手職員の教育に取り組みました。
アセスメント方法の勉強会を行い、ユニット会の内容がより具体的なものになるように取り組みました。また、実践を通してスキルアップが出来るように業務遂行表の改善を行い、教育体制づくりに努めました。
- ② 医師や看護師との連携体制を整えました。細かく正確な情報を伝えることでご利用者の異常の早期発見が出来るような体制づくりを行いました。
毎日のバイタルと状態の変化を細かく把握することで、ご利用者の重症化と長期入院を予防しました。これにより空床日数の増加を予防し、稼働率の維持に努めました。
- ③ ご家族が参加できる地域との交流の場を提供しました。運営推進会議と行

事を同日行う事で、ご家族が参加しやすくなるように企画し、行事への参加者増加に取り組みました。

また、運営推進会議の内容を見直しました。普段の写真を見ながら会議を行う事で、インフルエンザの流行時期であってもご利用者の様子が伝わるように取り組みました。

鶴翠とご家族、また、地域との関係が築けるように努めました。積極的にボランティアを招致することで、新規ボランティアの獲得を行いました。

- ④ 協力医療機関の看護師による実技指導と、介護に関する各研修により、専門的な技術と知識が習得出来るように取り組みました。

また、技能実習生への指導を担当者が行うことで、担当者自身の知識と技術が向上するよう取り組みました。これにより施設全体のスキルアップへとつながるような体制を整えました。

(2) 利用者に対するサービス

● 食事の介助

口から摂取できることが楽しみになることを目的に支援致しました。刻みやトロミが必要な場合であっても、盛り付けや刻みの大きさ等の検討を繰り返しました。これにより、重度化したご利用者であっても、出来る限り食事を楽しんで頂けるよう取り組みました。

● 排泄の介助

トイレで排泄が出来ることを目的としました。失禁回数とパッド使用枚数の軽減が出来るように、ご利用者ごとの排泄状況をモニタリングしました。集めた情報をユニット会で検討し、ご利用者ごとの最適な介助に取り組みました。

また、定期的なトイレ誘導とご利用者個々人のタイミングを把握することで、失敗のない排泄が出来るように支援いたしました。

● 入浴の介助

ご利用者全員に快適な入浴をして頂けることを目標に支援いたしました。ユニット会で検討を繰り返し、個人の思いや希望の把握に努めました。

また、入浴が楽しみになるようにご家族との連携を行いました。ご家族から情報収集し、ご利用者の思いが叶えられる入浴となるよう取り組みました。

● 更衣等の介助

ご本人の嗜好を大切に、意思に沿った衣類の選択と着用ができることを目的としました。衣類の整理をご利用者と一緒に行う事で、嗜好の把握を行えるような体制を作りました。

また、更衣時の身体チェックを行うことで、ご利用者の異変の早期発見に

努めました。ご家族に協力して頂き、施設での生活に楽しみを感じて頂けるように支援いたしました。

- 健康管理

ご利用者の健康管理が出来ることを目的に支援いたしました。毎日のバイタルチェックと食事量の確認により、健康状態の把握を行いました。

協力医療機関や主治医へ、より細かく情報提供ができるように取り組みました。身体状況の確認表を取り入れ、毎時の状態確認を行う事で、異変や皮膚状態の確認ができる体制を作りました。

- 相談援助

ご家族、医療連携室、包括支援センターが参加することで、相互の協力関係の構築が出来ることを目的に支援いたしました。運絵推進会議や行事企画等、ご家族と地域と一緒に参加できる場所の提供を行いました。これにより相互に相談や協力ができる関係づくりを目指しました。

ご家族が気軽に相談できる施設になるよう取り組みました。

- 防火・防災対策

ケアハウス鶴翠苑との合同防災訓練を行いました。消防隊の協力により検証訓練を行い、より実践的な訓練に取り組みました。

定期的な施設設備の点検と、施設内破損個所の確認を毎日行う事で、火災発生時の不具合予防に努めました。

また、隣接事業所との連携強化に努めました。勤務体制の確認と、消防自衛隊の業務内容の共有に取り組みました。

- 職員研修

外部での研修参加と資格取得を促し、施設全体のスキルアップとサービスの質の向上に努めました。介護のスキルアップを目指すとともに組織についての研修に取り組みました。これにより、離職の予防と職員間の連携強化に努めました。

また、内部研修への取り組み方を改善しました。グループワークの活用等、座人が参加できる研修の方法を各々が考えることにより、職員間の連携の重要性を理解し、実践できるように取り組みました。



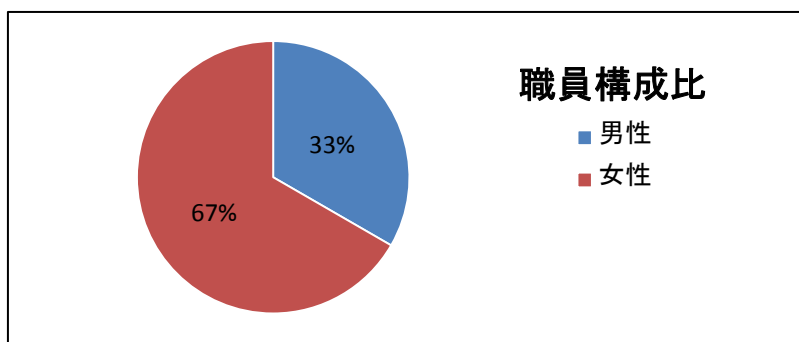


1. 事業所

① 概要

事業所名	グループホーム鶴翠		
事業所種別	(介護予防)認知症対応型共同生活介護		
事業所住所	愛媛県西条市大野284番地2		
管理者職名	管理者 山田 古津枝		
職員数	男性	女性	総数
	6	12	18

(令和2年3月31日現在)



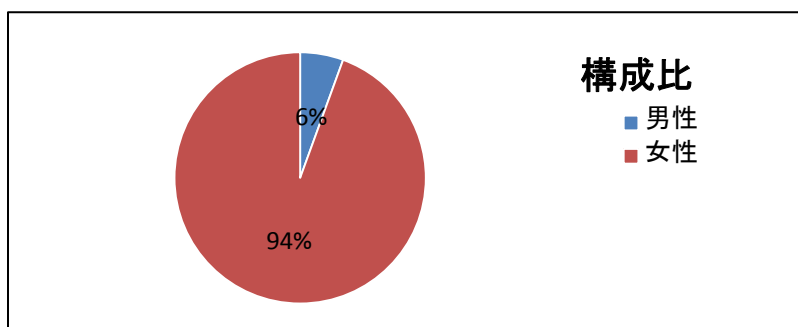
②職員紹介

グループホーム鶴翠は、管理者1名、介護副主任1名、計画作成担当者2名(内ケアマネージャー1名)、看護師1名と、介護員15名(内技能実習生2名)で構成されております。

管理者研修、認知症介護実践リーダー研修、認知症介護実践者研修、介護支援専門員、介護福祉士、認知症介護初任者研修、ヘルパー2級と、認知症介護に関する専門的な知識と技術を持った職員と、看護部門では、看護師免許を持った職員3名(内正看護師1名、准看護師2名)を配置し、認知症高齢者へ、専門的なケアと安全な生活が提供できるよう、職員全員が施設運営に取り組んでおります。また、技能実習生と職員が相互に影響し、互いの意識向上と施設全体のスキルアップへ繋がるように取り組んでおります。

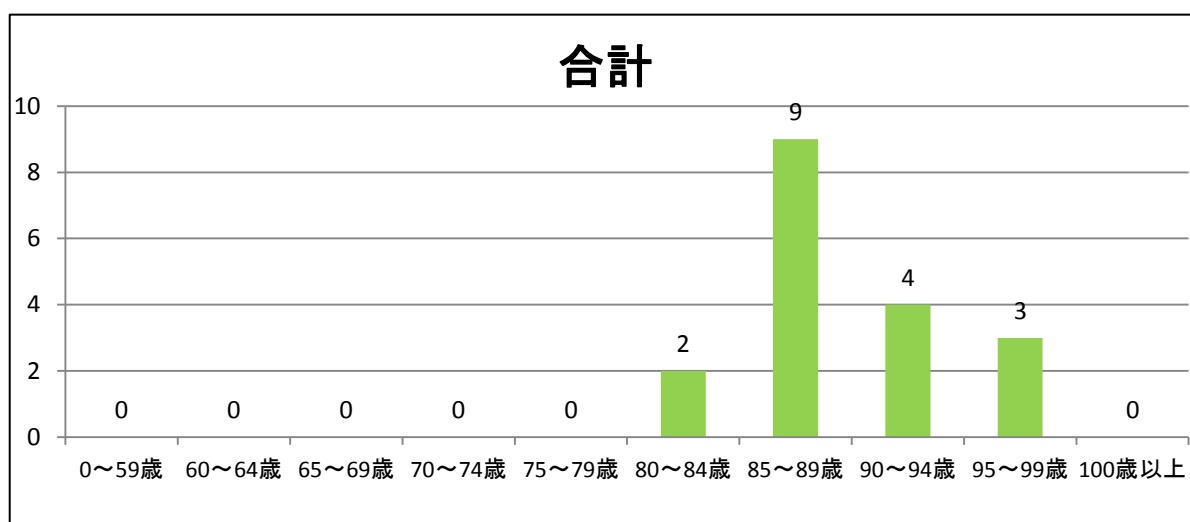
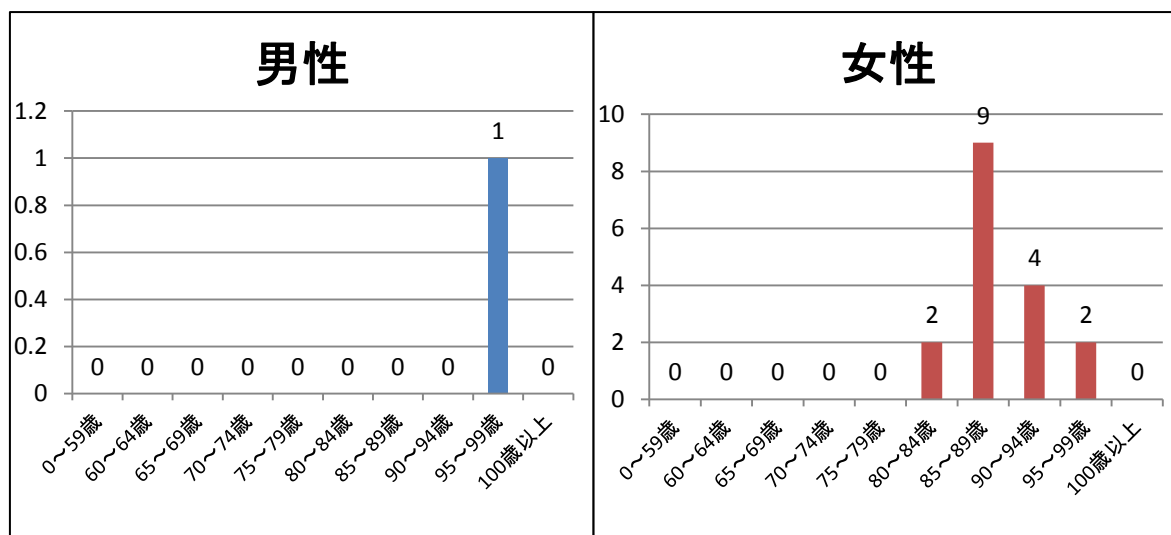
2. 定員及び現在人員(令和2年3月31日現在)

定員(名)	現在人員(名)	性別	
		男性	女性
18	18	1	17



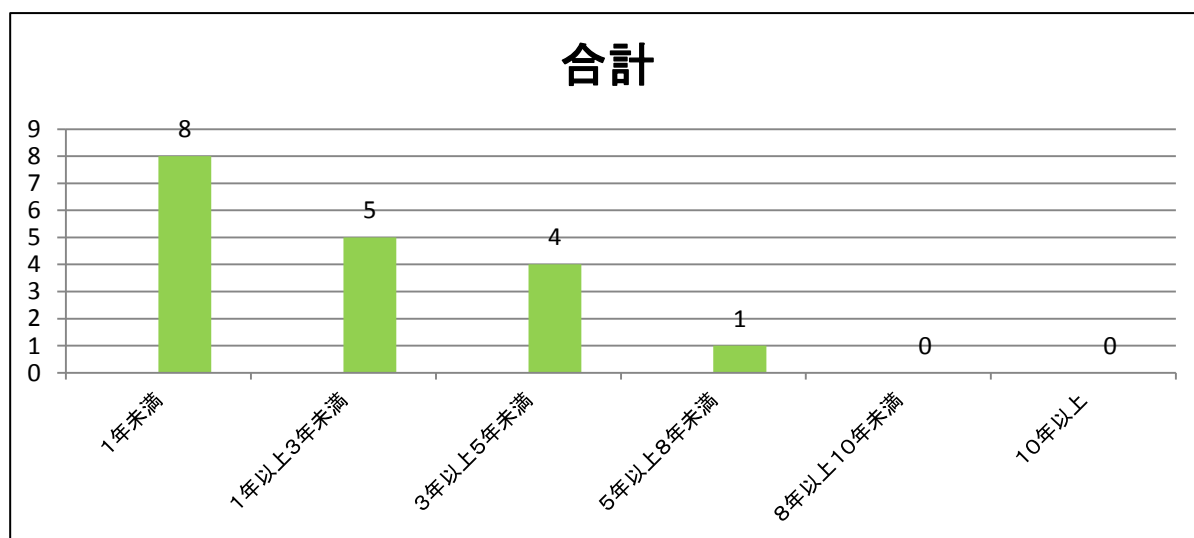
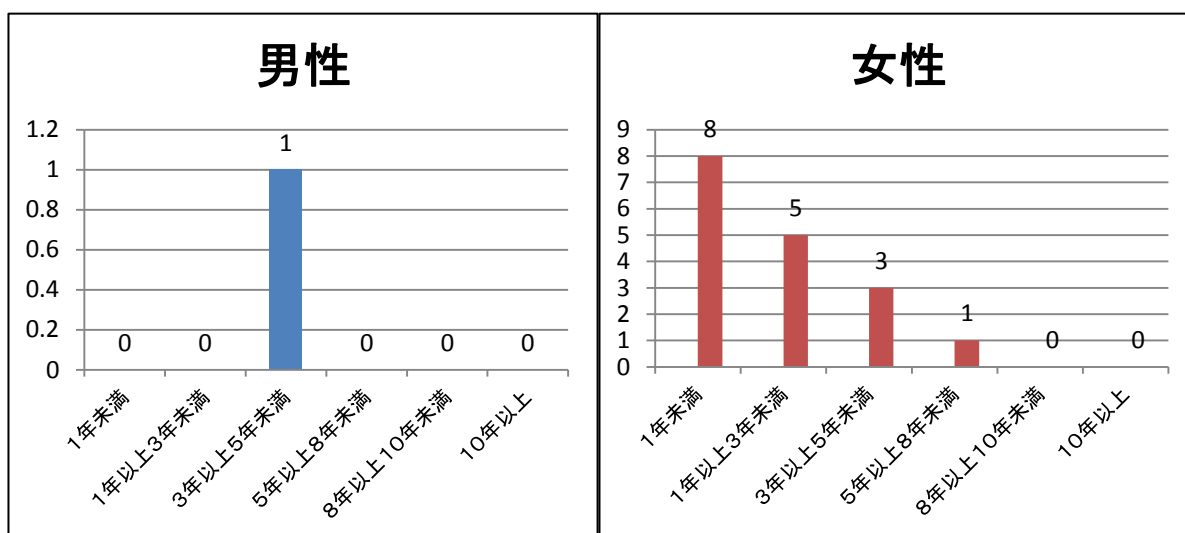
3. 年齢別人員

	男性(名)	女性(名)	合計人数と構成比	
			人数(名)	構成比(%)
0～59歳	0	0	0	0%
60～64歳	0	0	0	0%
65～69歳	0	0	0	0%
70～74歳	0	0	0	0%
75～79歳	0	0	0	0%
80～84歳	0	2	2	11%
85～89歳	0	9	9	50%
90～94歳	0	4	4	22%
95～99歳	1	2	3	17%
100歳以上	0	0	0	0%
合計	1	17	18	100%
	最高年齢	最低年齢	平均年齢	男女平均年齢
男性	98	98	98	
女性	98	83	89.2	



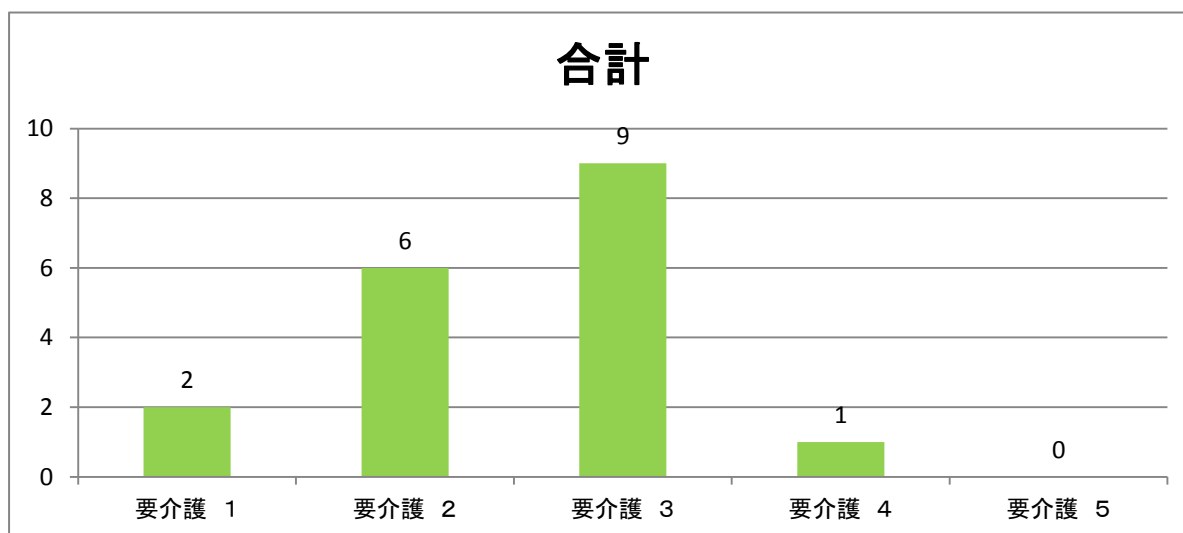
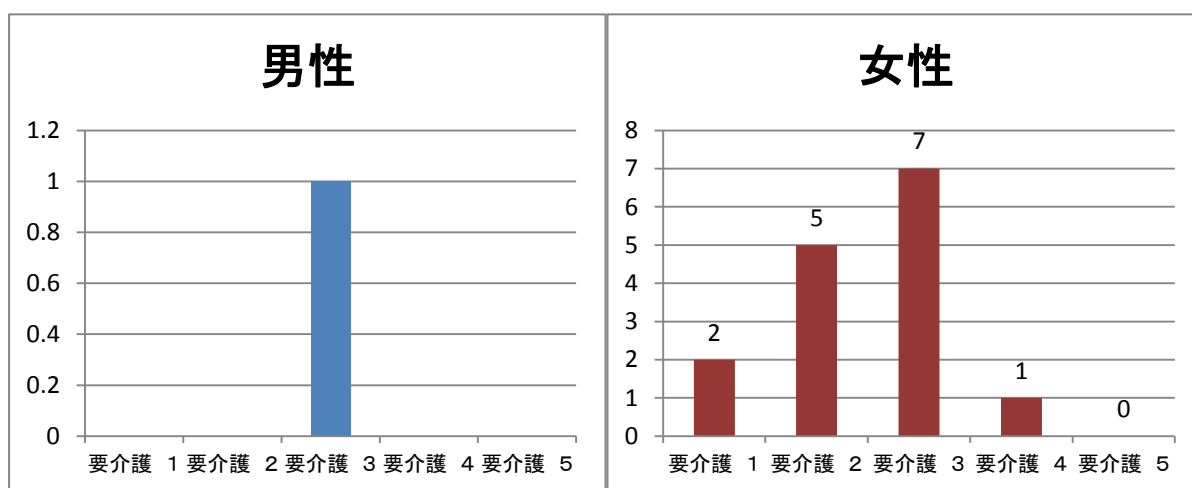
4. 入居期間別人員

	男性(名)	女性(名)	合計(名)	構成比(%)
1年未満	0	8	8	44%
1年以上3年未満	0	5	5	28%
3年以上5年未満	1	3	4	22%
5年以上8年未満	0	1	1	6%
8年以上10年未満	0	0	0	0%
10年以上	0	0	0	0%
合計	1	17	18	100%
平均入居期間	3年2カ月	1年5カ月	全体	1年6カ月



5. 平均介護度別人員

	男性(名)	女性(名)	合計	
			人数(名)	構成比(%)
要介護 1	0	2	2	11%
要介護 2	0	5	6	33%
要介護 3	1	7	9	50%
要介護 4	0	1	1	6%
要介護 5	0	0	0	0%
合計	1	17	18	100%
平均介護度	3	2.41	全体	2.44



6. 面会状況(平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日迄の1年間)

総数	106人
1か月平均	8.8人/月
最高(1人あたり)	30回/年
最低(1人あたり)	0回/年
年間1人平均	0.29
1か月1人平均	0.024

7. 研修実施状況

【内部研修】

実施月	研修内容	研修講師	出席者数(名)
4月	接遇について	介護職員	12
5月	リスクマネジメントについて	介護支援専門員	14
6月	感染症対策について	介護職員	9
7月	身体的拘束廃止について	介護職員	15
8月	緊急時対応について	介護職員	12
9月	防災・防犯対策についてについて	介護職員	9
10月	認知症の種類と介護技術について	介護職員	9
11月	感染症対策について	亀天会診療所 看護師	11
12月	虐待防止について	介護職員	9
1月	個人情報について	計画作成担当者	8
2月	ケアプランについて	介護支援専門員	10
3月	身体的拘束廃止について	介護職員	11

【外部研修】

実施月	研修種類	研修内容	出席者職種
5月	講習	技能実習生生活指導員講習	介護職員
6月	講習	東予感染対策セミナー	看護職員
11月	講習	感染症対策について	介護職員 看護職員
12月	講習	認知症介護実践研修	介護職員
2月	講習	口腔ケアの重要性	介護職員
3月	講習	社会福祉法人の経営分析・財務管理	介護職員

8. 行事・クラブ活動及びボランティア受入れ実施状況表

【行事・クラブ活動】

実施月	指導援助者	内容	参加者数(名)
4月	介護職員	誕生日会	18
	介護職員	お花見(クラレ)	12
	介護職員	お花見ドライブ(世田薬師)	5
	介護職員	桜クッキー作成	17
5月	介護職員	端午の節句	17
	介護職員	誕生日会	9
6月	介護職員	ドライブ(西条市考古歴史館)	17
	介護職員	誕生日会	16

7月	介護職員	七夕会	18
	介護職員	誕生日会	16
8月	介護職員	夏遊び	18
	介護職員	亀天会盆踊り大会	10
	介護職員	花火会	18
9月	介護職員	秋祭り(ケアハウス合同)	18
	介護職員	お月見会	17
	介護職員	敬老会	17
	介護職員	GH福寿苑 敬老会交流	2
	介護職員	おはぎ作成	17
10月	介護職員	秋祭り遊び	17
	介護職員	獅子舞見学	17
	介護職員	運動会	18
11月	介護職員	文化祭	18
12月	介護職員	誕生日会	18
	介護職員	リース作成	17
	介護職員	クリスマス会	18
	介護職員	もちつき	18
1月	介護職員	誕生日会	18
	介護職員	新年会	17
2月	介護職員	節分	18
	介護職員	誕生日会	35
3月	介護職員	雛祭り	17
	介護職員	誕生日会	17
	介護職員	みたらし団子作成	16

【地域交流・ボランティア受入れ状況】

実施月	団体名	内容	参加者数(名)
5月	ふじ美ボランティア和	歌謡ショー	18
1月	ふじ美ボランティア和	歌謡ショー	18

9. 苦情状況

【苦情状況】

日付	法人との関係	内容
令和元年		特になし